

# 東京 2020 プロボノサービスの報告書

## 1. はじめに

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会プロボノサービス（以下「本サービス」といいます。）は、2012 年のロンドン大会と 2016 年のリオデジャネイロ大会のプロボノサービスを参考にして準備されました。

本サービスは、2021 年 7 月 13 日から 9 月 8 日までの間、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に参加する選手、コーチ、チーム関係者、国内オリンピック委員会、国内パラリンピック委員会、国際競技連盟、国際パラリンピック競技連盟を対象に、無料で法律相談と代理業務を提供するものでした。法的アドバイスを無料で提供し、参加者が日本で最高の体験をできるように支援することで、大会の円滑な運営を図り、大会の精神を更に高めることを目的とするものでした。

本サービスでは、スポーツ仲裁裁判所（Court of Arbitration for Sport: CAS）のアドホック部やアンチ・ドーピング部の審問を含め、大会期間中緊急に開催される審問の代理を務めるために待機する弁護士へのアクセスを提供しました。また、4 つの法律分野における法的アドバイスへのアクセスも提供しました。

オリンピックでは 206 の国・地域、パラリンピックでは 163 の国・地域の選手、コーチ、チーム関係者は、自らの選択で弁護士に依頼することもできますが、本サービスを利用して法的アドバイスや支援を受けることが確保されていました。本サービスは、日本に自らの代理人がない場合や、短い時間で代理人を探すことが困難な場合のセーフティネットとして機能しました。

## 2. 本サービスの概要

東京 2020 プロボノサービス運営規則（以下「運営規則」といいます。）は、本サービスの詳細を定めたものです（<https://probono2020.tokyo/operationalrules.pdf>）。本サービスは、一般法律相談サービスと手続代理人サービスとで構成されており、いずれも運営委員会と事務局によって運営されました。

### 2.1 運営委員会及び事務局

運営委員会は、プロボノ弁護士の選任手続及び本サービスのガバナンス全般を監督しました。

#### 委員長

- 伊東卓（弁護士、伊東・早稲本法律事務所）

#### 委員

- 早川吉尚（弁護士、瓜生・糸賀法律事務所、立教大学教授、日本国際紛争解決センター事務局長）
- 高松政裕（弁護士、京橋法律事務所）
- 小川和茂（立教大学特任准教授、日本スポーツ仲裁機構理解増進専門員）
- 杉山翔一（弁護士、Field-R 法律事務所）
- 生田圭（弁護士、生田総合法律事務所）

サービス期間中は、日本のスポーツに関する独立した紛争解決機関である日本スポーツ仲裁機構（以下「JSAA」といいます。）が事務局を務めました。チューリッヒ大学の博士課程候補生であるセナ・ハンガートナー氏は、オリンピック・パラリンピック期間中、JSAA でインターンシップを行い、事務局をサポートしました。

## 2.2 一般法律相談サービス

以下の分野に関する法的アドバイスを提供するために、合計 43 名のプロボノ弁護士（別紙参照）が選定されました。

- スポーツ法
- 刑事法
- 民事法
- 出入国管理及び難民認定法

## 2.3 手続代理人サービス

慎重な選考と一連のトレーニング・ワークショップ（別紙 1 研修一覧参照）を経て、合計 30 名のプロボノ弁護士（別紙 2 弁護士一覧参照）が、CAS のアドホック部及びアンチ・ドーピング部を含む CAS の審理において申請者のために法的助言と代理サービスを提供するために選定されました。

## 2.4 グローバル・メンタリング・スキーム

本サービスの円滑な運営を経験と専門知識をもってサポートし、日本のプロボノ弁護士を支援するために、運営委員会はグローバル・メンタリング・スキームを構築しました。

メンターとして、本サービスに無償で貢献していただいたプロフェッショナルは、以下のとおりです。

- ジャック・アンダーソン（メルボルン大学）（アイルランド）
- ポール・J・グリーン（Global Sports Advocates）（米国）
- グレゴリー・イオニディス（シェフィールド・ハラム大学）（英国）
- ジョン・メルザッド QC（Littleton Chambers）（英国）
- アレッサンドロ・オリヴェリオ（isports law）（イタリア）
- ホアキム・デ・パイヴァ・ムニズ（Trench Rossi Watanabe）（ブラジル）

## 3. 本サービスへのアクセス

連絡先を含む本サービスに関する情報は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「TOCOG」といいます。）が国内オリンピック委員会及び国内パラリンピック委員会のために準備したウェブサイトを通じて、選手等に提供されました。関連する全ての申請書を含む詳細な情報は、本サービスの公式ウェブサイト（<https://probono2020.tokyo/>）でダウンロードすることができました。

本サービスを利用するには、以下の条件を全て満たす必要がありました。

- 日本国内で発生した事案であること

- 運営規則第3条に定められた本サービスの提供期間中に発生した、又は、当該期間の前後2日の間に発生した事案であること
- 求められている代理業務又は法的助言が各サービスの内容に合致すること
- 例外的な状況を除き、本サービスへの申請は、**Chef de Mission** を通じて行われていること
- オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な運営に貢献するという本サービスの目的に合致するものであること

#### 4. 本サービスの運営

本サービスへのアクセスは、電子メールからは 24 時間対応可能とし、運営委員会及び事務局のチームが担当する専用電話回線からは 10 時から 18 時（日本時間）まで対応可能としました。全ての問合せに対応し、アドバイスを求める申請者の利用要件をチェックした上で、その事案を担当する適切なプロボノ弁護士を選任しました。

本サービスの運営は、運営委員会及び JSAA が、TOCOG、日本国際紛争解決センター、日本弁護士連合会及びその他の関係団体と協力して行いました。本サービスは、スポーツ庁の助成金を受けて実施されました。

JSAA を通じた本サービスへの最初の申請は、全て英語で行う必要がありました。JSAA は、事案の基本的な情報を把握した上で、その事案に関連するプロボノ弁護士に照会することができるようにしていました。

#### 5. 事例の概要

##### 5.1 オリンピック

	事案の種類	申請者	結果	概要
1	CAS の仲裁 - 代表選手選考	セントクリストファー・ネイビスの選手	申請は受理された。 宮本聡弁護士及び前田葉子弁護士が担当した。	セントクリストファー・ネイビスのオリンピック委員会の 2021 年 7 月 12 日付け決定により、本選手は東京 2020 オリンピック競技大会のセントクリストファー・ネイビス代表に選考されなかった。本選手は、CAS のアドホック部に、セントクリストファー・ネイビスのオリンピック委員会が「Universality System」に基づいて東京 2020 オリンピック競技大会の女子 100 メートル背泳ぎに本選手を推薦するよう命じることを求めた。本選手の請求は棄却された。  仲裁判断の全文は以下の CAS のウェブサイトに掲載されている。 <a href="https://www.tas-cas.org/fileadmin/user_upload/AWARD_FINAL_OG_20-03.pdf">https://www.tas-cas.org/fileadmin/user_upload/AWARD_FINAL_OG_20-03.pdf</a>

2	CAS の仲裁 - 出場資格	ジョージアの選手	申請は受理された。 小野愛菜弁護士及び阿部信一郎弁護士が担当した。	本選手らは、2021年7月21日、CASのアドホック部に申請書を提出し、適用される規則に従って、本選手らは、東京2020オリンピック競技大会の女子ダブルステニス競技にエントリーする資格があり、ITFが2021年7月16日に発表した改訂エントリーリストは、本選手らを含めるように修正されるべきであると主張した。本選手らの請求は棄却された。  仲裁判断の全文は以下のCASのウェブサイトに掲載されている。 <a href="https://www.tas-cas.org/fileadmin/user_upload/Award_CAS_OG_20-05.pdf">https://www.tas-cas.org/fileadmin/user_upload/Award_CAS_OG_20-05.pdf</a>
3	サービス概要に関する問合せ	Athleten Deutschland	説明を行った。	サービスの概要について、運営委員会の委員が説明した。
4	サービス概要に関する問合せ	Center for Sport and Human Rights	説明を行った。	サービスの概要について、運営委員会の委員が説明した。
5	ホテルでの事象に関する問合せ	オリンピック委員会の Chef De Mission	連絡が途絶えた。	本問合せは、大会期間中に選手が宿泊していたホテルで発生した事象に関するものであった。事務局は、Chef De Mission に連絡したが、返信がなかった。
6	アンチ・ドーピング規則に関する法的助言	エチオピアの選手	申請は受理された。 渡邊迅弁護士及び田中和恵弁護士が担当した。	プロボノ弁護士は、アンチ・ドーピング規則に関連する法的助言を本選手に提供した。
7	CAS の仲裁 - 出場資格	ベラルーシの選手	申請は受理された。 井上拓弁護士及び椿原直弁護士が担当した。	本選手は、2021年8月2日午前、東京2020オリンピック競技大会女子陸上200m予選に参加させないというベラルーシのオリンピック委員会の決定を覆すことを求めて、緊急仲裁及び暫定措置の申請を行った。同委員会のコーチングスタッフは、本選手の精神的・感情的な健康状態に関する医師の報告書に基づいて、本選手の競技会への参加を取りやめましたとのことであった。本選手は、被申立人が本選手を大会から除外するために行った説明は、政治的理由に基づく誤ったものであり、恣意的かつ差別的であると考えられるべきであると主張した。本選手の暫定措置の請求は棄却された。  仲裁判断の全文は以下のCASのウェブサイトに掲載されている。

				<a href="https://www.tas-cas.org/fileadmin/user_upload/OG_20-13_Order_for_publication.pdf">https://www.tas-cas.org/fileadmin/user_upload/OG_20-13_Order_for_publication.pdf</a>
--	--	--	--	---

## 5.2 合計

オリンピック期間中における本サービスへの問合せ件数：7件

オリンピック期間中における本サービスへの申請件数：4件

オリンピック期間中に本サービスが提供したプロボノサービスの件数：4件

パラリンピック期間中における本サービスへの問合せ件数：0件

パラリンピック期間中における本サービスへの申請件数：0件

パラリンピック期間中に本サービスが提供したプロボノサービスの件数：0件

## 6. サービスへのフィードバック

サービスユーザーからのフィードバックは非常にポジティブなものでした。

「私を支援してくれた弁護士たちは、とても親切で、親身になって対応してくれました。夜遅くまで長時間働いてくれた上に、それ以上のことをしてくれました。私は担当弁護士の支援に感謝しています。私が望んだ結果は得られませんでした。担当弁護士は最善を尽くしてくれたので、感謝しています。」

「私達は、スポーツ仲裁裁判所のアドホック部においてアスリートの権利保護に貢献したX弁護士と彼の弁護団を称賛するとともに、更に実りある活動を期待しています。」

## 別紙 1 研修一覧

### 1 国内講師による研修

**【第1回】アドホック部の概要と手続**

日 時：2019年10月11日18時—20時

場 所：都内会議室

講 師：杉山翔一

**【第2回】アドホック部の判例研究① Eligibility (Selection を含む)**

日 時：2019年12月6日18時—20時

場 所：都内会議室

講 師：生田圭・杉山翔一

**【第3回】アドホック部の判例研究② Field of Play**

日 時：2020年1月24日18時—20時

場 所：都内会議室

講 師：小川和茂

**【第4回】アンチ・ドーピングの基礎**

日 時：2021年12月15日18時—20時

場 所：日本国際紛争解決センター（オンラインとの併用）

講 師：早川吉尚・佐竹勝一・片岡彰

**【第5回】2021年 Code 下の制裁の決まり方**

日 時：2021年1月22日18時—20時

場 所：日本国際紛争解決センター（オンラインとの併用）

講 師：小川和茂・杉山翔一

【第6回】代理人の立場からの視点・アンチ・ドーピング部の管轄

日 時：2021年3月5日18時-20時

場 所：日本国際紛争解決センター（オンラインとの併用）

講 師：高松政裕・杉山翔一

【第7回】Playbook について

日 時：2021年7月12日18時-18時30分

場 所：オンライン開催

講 師：杉山翔一

2 海外講師による研修

(1) アドホック部、アンチ・ドーピング部について

日 時：2020年2月11日 13:00-17:30

場 所：虎ノ門ヒルズフォーラム

講 師：Michael Lenard 氏（ICAS Vice President）

Ulrich Haas 氏（チューリヒ大学教授、CAS 仲裁人）

Brent Nowicki 氏（CAS Managing Counsel、Head of Anti-Doping Division）

(2) 2021年 Code 下におけるドーピング仲裁代理

日 時：①2021年2月19日 18:00-20:00

②2021年2月26日 18:00-20:00

場 所：オンライン開催

講 師：Gregory Ioannidis（Sheffield Hallam University）

## 別紙2 弁護士一覧

手続代理人

氏名	所属する法律事務所	所属弁護士会
阿部 信一郎	霞ヶ関国際法律事務所	東京弁護士会
飯田 研吾	兼子・岩松法律事務所	第二東京弁護士会
板井 典子	青木・関根・田中法律事務所	第一東京弁護士会
一色 和郎	一色法律事務所・外国法共同事業	第一東京弁護士会
井上 拓	日比谷パーク法律事務所	第二東京弁護士会
置塩 正剛	くくな法律事務所	東京弁護士会
奥村 直樹	中村合同特許法律事務所	第二東京弁護士会
小野 愛菜	アンダーソン・毛利・友常法律事務所	第一東京
坂元 靖昌	北浜法律事務所・外国法共同事業	大阪弁護士会
佐藤 安紘	KTS法律事務所	第二東京弁護士会
澤野 正周	楠・岩崎・澤野法律事務所	第一東京弁護士会
城石 惣	兼子・岩松法律事務所	第二東京弁護士会
鈴木 康之	隼あすか法律事務所	東京弁護士会
孫 彦	中倫外国法事務弁護士事務所	第二東京弁護士会
田中 和恵	東西総合法律事務所・外国法共同事業	東京弁護士会
田伏 いづみ	四谷国際法律事務所	東京弁護士会
恒石 直和	表参道総合法律事務所	第一東京弁護士会
椿原 直	隼あすか法律事務所	第一東京弁護士会
得重 貴史	銀座得重法律事務所	東京弁護士会
富田 英司	バックステージ法律事務所	大阪弁護士会
藤井 豪	フォーカスエイド法律事務所	第一東京弁護士会
堀口 雅則	東京21法律事務所	第二東京弁護士会
本間 由美子	弁護士法人GVA法律事務所	第二東京弁護士会
前川 直輝	Maekawa国際法律事務所	大阪弁護士会
前田 葉子	シティユーワ法律事務所	第一東京弁護士会
宮本 聡	大江橋法律事務所 東京事務所	第一東京弁護士会
三浦 祥子	弁護士法人北浜法律事務所 東京事務所	東京弁護士会
山田 尚史	フェニックス法律事務所	大阪弁護士会
劉 セビョク	のぞみ総合法律事務所	第一東京弁護士会
渡邊 迅	名川・岡村法律事務所	東京弁護士会



一般法律相談

【出入国管理及び難民認定法】

氏名	所属する法律事務所	所属弁護士会
粟津 卓郎	曾我法律事務所	第二東京弁護士会
板井 典子	青木・関根・田中法律事務所	第一東京弁護士会
岡 英男	大正法律事務所	大阪弁護士会
置塩 正剛	くくな法律事務所	東京弁護士会
菊池 滉	長島・大野・常松法律事務所	第一東京弁護士会
島村 洋介	島村法律事務所	第二東京弁護士会
杉田 昌平	センチュリー法律事務所	東京弁護士会
田中 広太郎	弁護士法人品川国際法律事務所	東京弁護士会
得重 貴史	銀座得重法律事務所	東京弁護士会
山浦 誠治	目黒国際法律事務所	東京弁護士会

【刑法】

氏名	所属する法律事務所	所属弁護士会
上野 仁平	高野隆法律事務所	第二東京弁護士会
佐藤 麻子	R & G横浜法律事務所	神奈川県弁護士会
清水 史	上野の森法律事務所	東京弁護士会
高橋 俊太郎	長谷一雄法律事務所	第二東京弁護士会
田原 洋太	ヴァスコ・ダ・ガマ法律会計事務所	第二東京弁護士会
福田 匡剛	ベリーベスト法律事務所 大宮オフィス	埼玉弁護士会
真喜志 ちひろ	虎ノ門総合法律事務所	東京弁護士会
柳原 知恵子	森永製菓株式会社	第一東京弁護士会
山本 皓太	弁護士法人・響	第二東京弁護士会
和田 恵	高野隆法律事務所	東京弁護士会、NY州

【スポーツ法】

氏名	所属する法律事務所	所属弁護士会
杉本 智則	杉本法律特許事務所	大阪弁護士会
楠田 真士	外国法共同事業オメルベニー・アンド・マイヤーズ法律事務所	第一東京弁護士会
尖戸 一樹	弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所	第一東京弁護士会
生野 聡	松田綜合法律事務所	第二東京弁護士会
新間 祐一郎	東啓綜合法律事務所	第一東京弁護士会
関谷 綾子	関谷法律事務所	静岡県弁護士会
フェルナンデス中島マリサ	長島・大野・常松法律事務所	第一東京弁護士会
松本 祐輝	西村あさひ法律事務所	第二東京弁護士会
宮本 聡	大江橋法律事務所 東京事務所	第一東京弁護士会
山本 衛	今西・山本法律事務所	東京弁護士会
横山 浩	馬場・澤田法律事務所	東京弁護士会

【民事法】

氏名	所属する法律事務所	所属弁護士会
阿部 信一郎	霞ヶ関国際法律事務所	東京弁護士会
阿部 実佑季	高橋雄一郎法律事務所	東京弁護士会
遠藤 温子	あみた綜合法律事務所	東京弁護士会
及川 知宙	弁護士法人・響	第二東京弁護士会
萩原 新太郎	芝綜合法律事務所	第二東京弁護士会
川水 美穂子	SBI BITS Co.Ltds.	第一東京弁護士会
呉 夢西	長島・大野・常松法律事務所	第一東京弁護士会
鈴木 康之	隼あすか法律事務所	東京弁護士会
田中 尚幸	トップランナー法律事務所	東京弁護士会
谷 友輔	曾我法律事務所	東京弁護士会
根本 剛史	西村あさひ法律事務所	第一東京弁護士会
宮本 聡	大江橋法律事務所 東京事務所	第一東京弁護士会
見知 岳洋	モルガン・ルイス・アンド・バックアス法律事務所	第二東京弁護士会